

資料を読み取ろう

() 年 () 月 () 日 () 年 () 組 名前 ()

冷戦の始まり

The beginning of the cold war

ベトナム戦争

Vietnam War

次の写真を見て、ベトナム戦争でどんなことが起きていたか、考えてみよう

(1) ベトナムの人たちの生活はどうなっていたか。

沢田教一 『安全への逃避』 1965



出典：Tokyo Museum Collection
(<https://museumcollection.tokyo/works/96495/>)

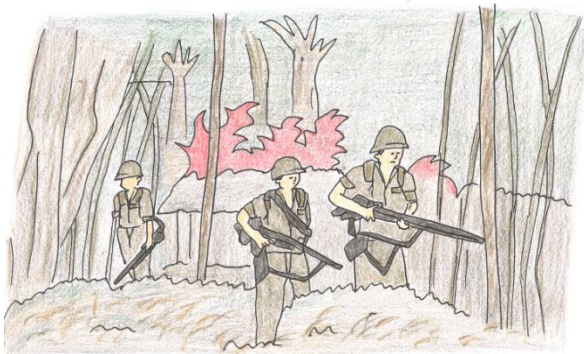
ニック・ウト 『ナパーム弾の少女』 1972



写真：AP/アフロ

↑ 南ベトナムの村。この村に北ベトナム軍がいると考えると、南ベトナム政府軍がナパーム弾を落とした。

← この村の人は、南ベトナム解放民族戦線とつながっているとアメリカ軍は考えて、村を焼いた。



ベトナム戦争は、同じ国の人たちが殺しあった戦争だった。特に、南ベトナムでは、南ベトナム政府軍と、南ベトナム解放民族戦線が戦っていた。家族が敵と味方に分かれて戦うこともあった。だから、どこに「敵」がいるかわからなくて、普通の人々が生活している村に爆弾を落としたり、村を焼いたりした。でも、逃げるところはなかった。戦争が終わって、南ベトナム政府軍についていた人たちはベトナムから逃げ出した人も多かった。この時代に日本に難民としてきた人たちも日本にたくさんいる。

(2) 南ベトナム解放民族戦線のゲリラ戦

National Front for the Liberation of South Vietnam Guerrilla warfare

南ベトナム解放民族戦線は、落とし穴や地下トンネルをたくさんつくった。



ホーチミン市からバスで2時間のクチというところで、ベトナム戦争のときの村の人たちの戦い方を保存して見せている。地下トンネルをつかって、外からわからないようにしたり、草や木で落とし穴をつくったり、工夫して戦っていた。

(3) アメリカ軍の枯葉作戦

Operation Defoliation

ジャングルの中に南ベトナム解放民族戦線の兵士が隠れていて見えない。

jungle

hide

アメリカ軍は草が枯れる薬を空から散布した。この薬のために、奇形児や発癌性など、

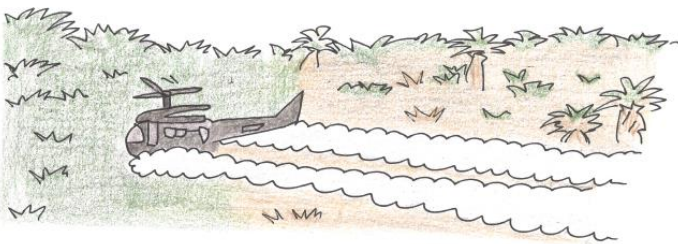
grass dies

deformed child cancer causing

後遺症が続いている。

after-effect

アメリカ軍はベトナム戦争で、第二次世界大戦より多くの爆弾を使った。枯葉剤を使った目的の2つ目は、ベトナムの人たちが作る農作物が枯葉剤のために食べられなくなって、食べ物を奪うことだった。枯葉剤で100万人以上の人々が奇形、遺伝病、がんで苦しんでいる。ベトナム戦争後に生まれた子どもたちの15万人以上に重い病気があった。



枯葉剤をまくアメリカ軍



中村梧郎氏 提供